



川村ひろあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

東西線、千葉駅まで延伸を

9月定例県議会一般質問

今年4月の選挙で、千葉市議会から県議会へ歩みを進めた川村博章議員は9月定例県議会で登壇し、初の一般質問を行いました。東京メトロ東西線は千葉県と東京を結ぶ、通勤・通学者には欠かせない路線ですが、川村県議は現在、総武線津田沼駅ま

川村議員 現在、東京メ

トロ東西線は、朝晩の通勤・

通学の時間帯に一部の列車

がJR総武線と相互乗り入

れしており、津田沼駅まで

運行されている。

千葉市を初め、総武線沿

線部や千葉駅以東の多くの

県民が東西線を利用してお

り、また、幕張本郷駅が幕張

新都心の玄関口として開設

されて以来、東西線を利用

した東京方面からの多くの

乗客がいることから、総武線

から東西線への直通列車を

中央線三鷹駅同様に、終日、

千葉駅まで延伸するよう求

める声が私の元へ多く寄せ

られてはいる。仮に、東西線を千葉駅まで延伸することが出来れば、千葉市・千葉市以東の市町村から、東西線の大手町・日本橋方面へのアクセス強化につながる、利便性が向上するのではないかと考える。そこで、東京メトロ東西線をJR千葉駅まで延伸するよう働きかけるべきと思うがどうか。

総企画部長 東京メトロ東西線については、朝夕の一部列車が西船橋駅から津田沼駅までJR総武線に乗り入れています。JR総武線の区間については、東西

の東西線乗り入れを千葉駅まで延伸するよう働きかけてほしいと要望しました。また、新しい技術を身に付けるための学び直し「リスキング」へ、県はどのように支援しているのかを聞きました。川村県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

線からの直通列車も含め、

JRにおいて運行管理をし

ているところです。

JR千葉支社によると、

東西線直通列車の津田沼駅

から、東西線に乗り入れ

ています。

JR千葉支社によると、

東西線直通列車の津田沼駅

から、東西線に乗り入れ

ています。

JR千葉支社によると、

東西線直通列車の津田沼駅

から、東西線に乗り入れ

ています。

JR千葉支社によると、

東西線直通列車の津田沼駅

から、東西線に乗り入れ

ています。

JR千葉支社によると、

東西線直通列車の津田沼駅

から、東西線に乗り入れ

ています。

JR千葉支社によると、

東西線直通列車の津田沼駅

から、東西線に乗り入れ

ています。

JR千葉支社によると、

東西線直通列車の津田沼駅

から、東西線に乗り入れ

ています。

JR千葉支社によると、

東西線直通列車の津田沼駅

から、東西線に乗り入れ

ています。

総武線快速列車の幕張駅停車を要望

川村議員 幕張新都心への新たな玄関口となり、また、花見川区の中心として、多くの区民が利用する幕張駅に、JR総武線快速列車が停車するよう働きかける

再質問

川村議員 津田沼・千葉間における、総武緩行線各駅の最新の乗車人員の状況はど

川村ひろあきプロフィール

経歴

- 昭和39年2月21日千葉市生まれ
- 千葉大学教育学部附属小学校卒業
- 千葉大学教育学部附属中学校卒業
- 早稲田実業高等部卒業
- 神戸大学経済学部卒業
- 早稲田大学大学院 政治学研究科修了
- 川崎重工業株式会社宇宙開発室勤務
- 外務大臣秘書・代議士秘書
- 千葉市議会議員(5期)
- 千葉市議会議長(第78代)

現職

- 県議会商工労働常任委員会委員
- 県議会議会運営委員会委員
- 千葉市レクリエーション協会会長

●県政・市政に関するご相談・ご意見・ご提案などお気軽にご連絡下さい。

川村ひろあき事務所 TEL 043-250-1021 FAX 043-250-0071 〒262-0005 千葉市花見川区こてはし台3-13-4

リスクリング実施の企業支援



交通、健康など幅広い課題について施策を質問

学び直してスキルアップ

川村議員 岸田首相は昨年10月の臨時国会における所信表明演説において、リスクリング、すなわち、学び直しへの支援に対して、5年間で1兆円を投じること

このため、国では、企業が従業員に、業務に必要なスキルや知識の習得を目的とした講座等を受講させた場合、その費用や受講期間中の賃金の一部を助成し、企業の経済的負担の軽減を図ることにより、人材の育成を支援しているところです。県においても、こうした支援制度の活用を促すため、新たに、経営者を対象としたリスクリングの意識づけを図るセミナーや、人事担当者がDX人材の育成手法等を学ぶ講座を開催するための経費を9月補正予算案に計上したところです。今後とも、これらの施策を活用しながら、中小企業の人材の育成・確保を支援してまいります。

中核的な施設であり、地域経済の推進役であることから、今後も稼働率・利用者数の向上に努めていただきます。

幕張メッセ利用回復へ 今年のピーク時の8割見込む

川村議員 近年の幕張メッセの利用状況はどうか。また、今後の利用促進にどのような取り組みをいくのか。

国際展示場の近年の利用状況ですが、令和元年度に過去最大となる2636ホールを記録し、その後、新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少しましたが、現在は回復傾向にあり、今年度はピーク時の約8割となる2030ホール程度になるものと見込んでおります。

今後は、成田・羽田の両空港からのアクセス性や平面構造で使いやすい施設であること等の優位性を活かして、地域経済へ波及効果の高い展示会などの誘致を強化するほか、利用者ニーズを踏まえた施設・設備の充実、指定管理者である株式会社幕張メッセによる自主事業の

積極的な実施などにより、更なる利用促進を図ってまいります。

川村議員 幕張メッセは幕張新都心の

積極的な実施などにより、更なる利用促進を図ってまいります。

地域の健康づくり 統計データを活用

川村議員 地域における健康づくりの推進に向けて、県ではどのように取り組んでいるのか。

知事 健康づくりの推進のためには、県民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組んでいただくだけでなく、地域において健康づくりの取り組みを支援する環境の整備を進める必要があります。

そのため県では、市町村等が健康づくり施策の立案や事業評価に活用できるよう、健康・医療・福祉に関する統計データを分析し、健康情報ナビとして県ホームページで発信しています。

また、保健所単位で、市町村や教育機関、地元企業等で構成する協議会を設置し、働く世代の生活習慣病対策等、地域の健康課題の改善に向けた共同事業の実施等に取り組んでいるところですが、引き続き、このような取り組みにより、地域における健康づくりを推進してまいります。

川村議員 長寿に向けた健康づくりは、データに基づく施策の立案や取り組みが重要だと思っております。引き続き、市町村と連携し、

なから、地域の実情に合った健康づくりが進むよう、実態調査やデータ分析に努めるよう要望する。

また併せて、平均寿命や健康寿命を延ばすのに有効な施策を明らかにすることは難しいと思うが、今回示したデータを分析していただくなどして長寿のための秘策の解明にも努めていただくよう要望する。

保健所 人材確保に尽力

川村議員 保健所の専門職の人材確保について今後どのように対応するのか。

健康福祉部長 県では、職員の増員などにより、保健所の体制強化を図ってきたところですが、保健師等の専門職の確保については、令和4年度の職員採用試験等において、採用人数が採用予定数に満たないなど、厳しい状況にあると認識しています。

このため、様々な方が受験できるよう、経験者採用の新たな実施や試験回数の増加など試験制度の見直しを行うとともに、仕事の魅力を学

生に伝えるため、保健所の職員による大学訪問を強化するなど、採用活動の充実

に努めています。

また、保健師を始め、公衆衛生の専門職の確保とスキルアップに努めていただくよう要望する。公衆衛生の専門人材を養成する大学や専門機関が少ないことから、県立保健医療大学に公衆衛生を専門とする大学院を設置してはどうか。

川村議員 引き続き保健師を始め、公衆衛生の専門職の確保とスキルアップに努めていただくよう要望する。

公衆衛生の専門人材を養成する大学や専門機関が少ないことから、県立保健医療大学に公衆衛生を専門とする大学院を設置してはどうか。